

平成26年2月26日

場所：山梨クラリオン

夢甲斐塾運営会議議事録

○森の防波堤

- ・塾でまとめて20セット購入した。
- ・参加希望者には、費用4,000円の半額2,000円を補助。
- ・既に20名を超えている。さらに5セット追加購入する。
- ・今後補助は年会費を支払っている塾生に限定。

○夢甲斐フェスタ

- ・11月23日（日）朝日町での「えびす講祭り」と同時開催。
（塾長がこれなくてもこの日に行う）
- ・郷育フォーラムの一環なので多くの方に参加していただきたい。
- ・実行委員会が主体となって塾生親睦のためのイベントを開催し、盛り上げていきたい。
- ・例えば、お花見、ペンキ塗り交流会など。
- ・親睦や連携も大切。ただし出る杭志向の塾生もいるので別に何かが必要。
- ・ドングリプロジェクトの報告も行う。
- ・各期のパネリストによる討議の案。

○名簿の整理

- ・メール依頼したが、8期入倉氏からのみ返信。
- ・この場で配布し記入してもらう。

○14期生募集委員会

- ・大森さん委員長 連絡担当、山崎さん
- ・公開例会 5月24日（土）一般の方に塾を知ってもらう。
- ・3月11日までに13期が場所を決め、12期に連絡。
- ・12期はチラシを作り、運営会議にもってくる。
- ・公開例会は13期主体。何するか決めて、場所を決める。
- ・茶話会は12期主体。
- ・会場費は塾から5万円程度出る。お茶会は別。
- ・これが済んだら、出発式の準備。
- ・上甲塾長 7月 11, 12, 13日なら OK
- ・12期は入塾説明会の内容・日程を 3/19 までに決める。
- ・ホームページへの掲載は12期で行う。
- ・募集委員会の目的・・・①新たな同志、14期を募る重要な役割
②出発後に12期としての絆を深める
③活動を通じて夢甲斐塾の中での広がりを持つ
- ・情報共有に心がける。柴田事務局長にはまめに連絡する。

- ・今の時点で予定者はゼロ。12期で20名集める気持ちをお願いします。

○14期生カリキュラム

- ・矢島さんの提言の資料を各自読んでおく。

●13期の感想（塾開催3回の研修）

- ・すべてに参加できなかった。
- ・カリキュラムとは別に早い段階で13期が集まる機会がほしかった。
- ・事務局主体のカリキュラムは必要。
- ・入塾式の日程を早く知らせてほしかった。入塾式に参加できないと次回参加しにくい。
- ・最後の1回で、課題本についてのグループワークはどうか。
- ・市民フェスタが全員で取り組む初めてのイベントだったが、あること知らなかった。
団結できる機会であるので早い時点で話題に出してほしい。
- ・当初、人による温度差を感じた。早い段階で会う機会を多く設定してほしい。
- ・最初の3回はお客さま気分だった。13期同士が話し合える機会がほしい。
- ・始まったころ迷った時、困った。先輩から声をかけていただけるようなサポートほしかった。

●12期の今の感想

- ・社会へ出てからの一年を濃く生きるきっかけになった。
- ・最初は「やらされ感」があったが、一年で人間の幅が広がったと思う。
- ・やらないよりやって良かった。入塾する価値はあった。
- ・いろいろなタイプの人と縁ができた。
- ・お互いに理解し応援し合える仲間ができたことがうれしい。

○その他

●2月例会の報告

- ・白倉氏（1期）の講話・・・プライドを持って出る杭リーダーを目指せ。
- ・保坂氏（10期）の講話・・・信頼関係を築き理解者を広げていく大切さ。
- ・内容について情報発信を試みたい。（13期）

●3月例会

- ・身延山への登山、宿坊への宿泊
- ・塾長からのアドバイス「現場でやりなさい」を実行。
- ・会話する機会を作る。
- ・山梨県にある仏教宗派の総本山を知り理解を深める。
- ・塾長と接する時間が多くなる。
- ・みんなで登る経験を共有、ゆっくり登って3時間。
- ・13期の「山甲斐塾」の活動を知ってもらい、ゴミ拾いもする。
- ・現在10名ほどの参加者、3月7日まで募集。20名目標。
- ・食事の前に参加者に発言してもらい進行はどうか。

○次回の運営会議は、3月19日（水）19時30分～ 場所 花水木 です。